

# 切断長さと角度を ピタツと測る!



正確に測定できる「デジタル角度バー」新発売!



既存の切断機に取り付ける  
デジタル定寸器

**デジピタツ!**<sup>TM</sup>

# 既存の切断機に取り付けるだけで 切断精度と効率が大幅にアップ!

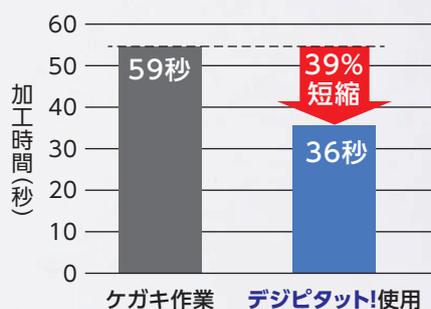
材料の切断において一番に求められるのは精度出しです。しかし、スケールの測定では精度に限界があり、コストのかかるNC機では採算が取れないケースもあります。また、多品種少量が求められる今日では、切断位置のケガキ合わせやスケール合わせの作業行程も手間や時間がかかり、生産ロスを招いています。

「デジピタット!」は、デジタル表示の定寸機構をスライドさせて寸法設定するというシンプルな操作で、これまで困難だった材料切断加工の精度出しを実現しました。

説明動画



効果検証例:瓦斯管25A切断の場合  
(カット前段取り加工時間比較)



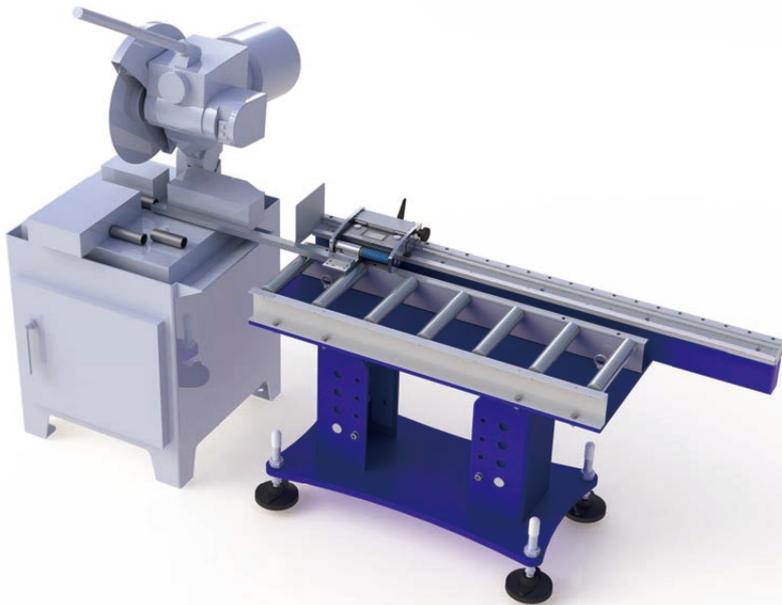
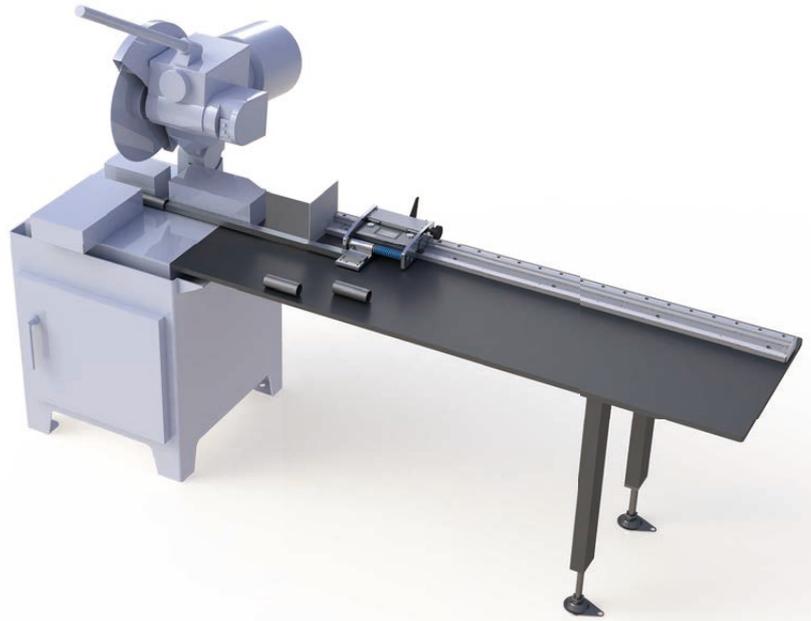
既存の切断機に取り付けるだけで多くの作業者が簡単にご使用いただけ、現場の切断加工精度と作業効率が格段に向上します。



取付け型デジタル定寸器

**デジピタット!**<sup>TM</sup>

定寸器単体製品が「デジピタット!」です。  
お客様側でご用意いただく作業台に取り付けることをご使用いただけます。



作業台一体型デジタル定寸装置

**デジピタット!**<sup>TM</sup>  
B A S Y S

デジタル定寸器をあらかじめ作業台に取り付けた一体型が「デジピタット!ベイス」です。今お持ちの切断機の隣に据え置くだけでご使用いただけます。

**様々な形状の材料に対応し、  
高い精度で切断角度も測定が可能!**

オプション品の「幅広スライドバー」は角度・径の違うパイプや長尺素材の先端も確実にキャッチします。また別売の「デジタル角度ゲージ」を取り付けることにより、切断機の角度もデジタル表示させることができます。



# 正確な寸法設定を簡単に行うための工夫を数多く盛り込みました。

## 読みやすいデジタル表示

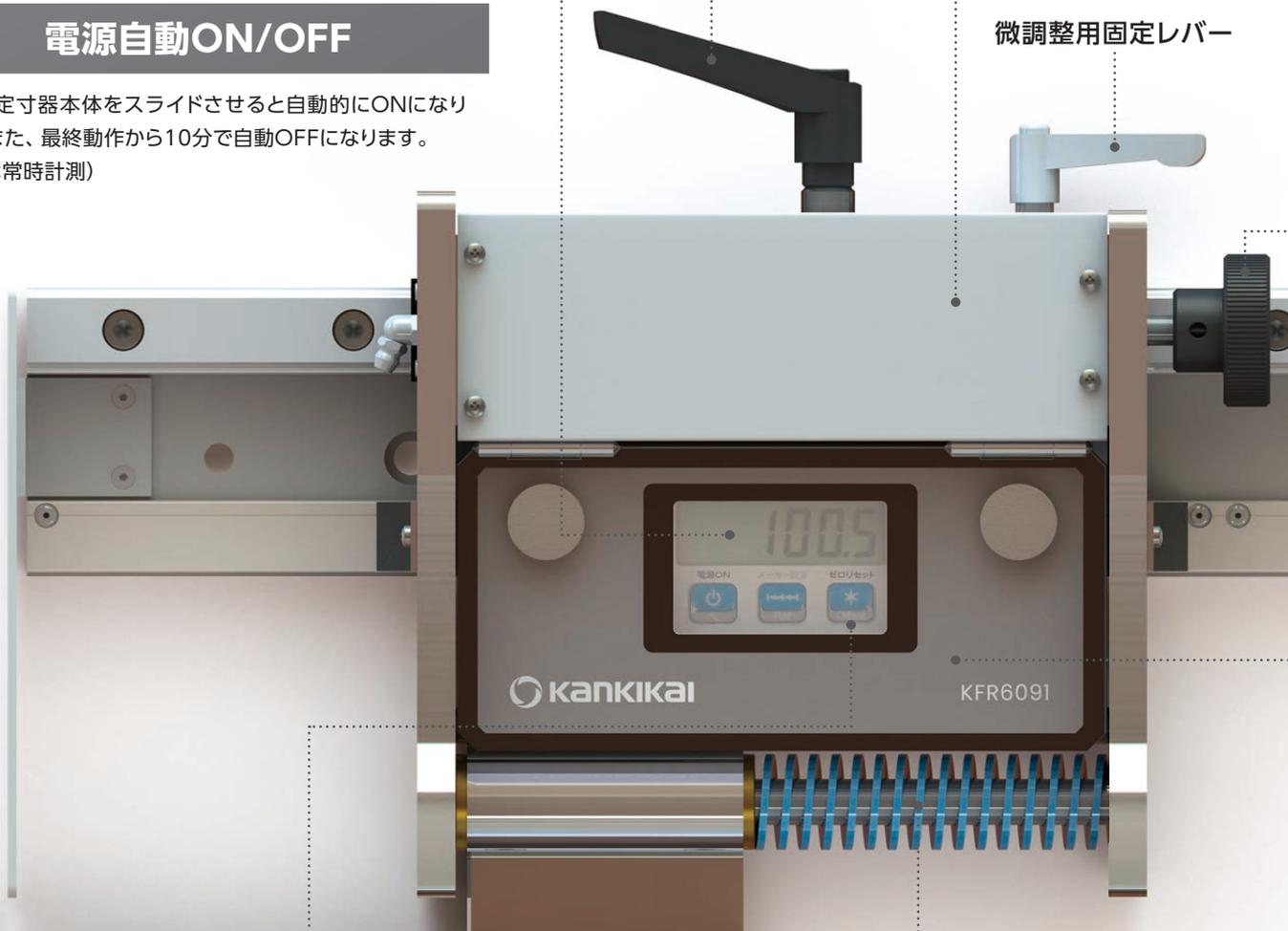
測定は見やすいデジタル表示。目盛りの読み間違いによる加工ミスを低減させます。

## 電源自動ON/OFF

電源は定寸器本体をスライドさせると自動的にONになります。また、最終動作から10分で自動OFFになります。(内部は常時計測)

固定レバー

微調整用固定レバー



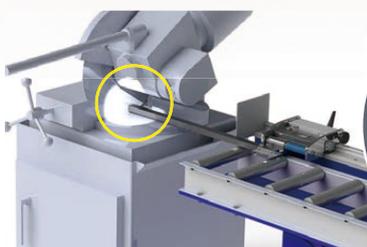
突き当てバー

## 作業に応じて突き当てバーを収納

定寸器を使用しない時など突き当てバーを簡単に収納できます。通常の作業も可能です。

## ゼロリセット機能付き

原点決めに便利なゼロリセット機能付。原点を基準に寸法設定することで、正確な測定が可能になります。



## 寸法設定は簡単なスライド式

定寸器本体をスライドさせると、切断位置からの距離をデジタル表示。ダイヤルを回せば、0.1mm単位の微調整もできます。また、スライド部はリニアモーションガイドを採用。滑らかでスムーズな、手に優しく疲れにくい操作性を実現しました。



微調整ダイヤル



ガイドレール

## 電池内蔵式だから配線作業は不要

リチウム電池が本体に内蔵された省エネタイプなので、工場の電力を使わず、電源を確保する手間もありません。電池寿命は10%の負荷で約8年（50%の負荷で約4年）と長持ちします。

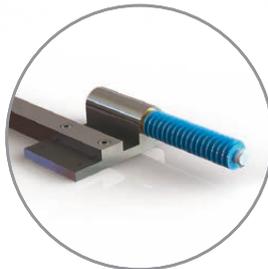
※  が表示されたら電池の寿命です。

電池交換はできません。デジタル表示ユニットの交換になります。

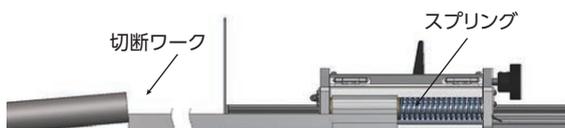
## ばね定数を最適化し振動を吸収

突き当てバーの末端部に装着されるスプリングのばね定数を最適化し切断ワークから伝わる振動を受け止めるだけでなく、上手に逃がすことで切断刃への負荷と切断ワークの跳ねを軽減します。

※切断機側に異常が発生する場合は突き当てバーを待避させてご使用ください。



切断ワークの跳ねを軽減させるイメージ

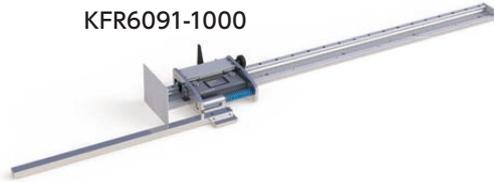


## バリエーション

### 取付け型デジタル定寸器

# デジピタット™

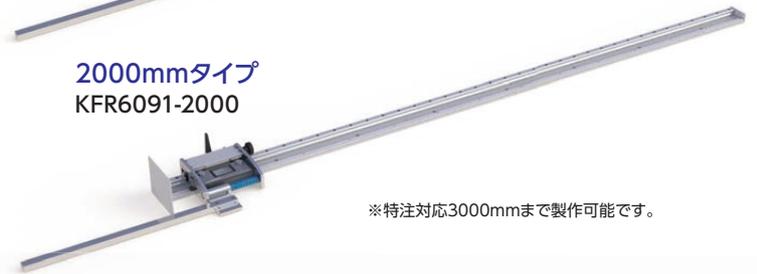
1000mmタイプ  
KFR6091-1000



1500mmタイプ  
KFR6091-1500



2000mmタイプ  
KFR6091-2000



※特注対応3000mmまで製作可能です。

### 作業台一体型デジタル定寸装置

# デジピタット™

B A S Y S

1000mmタイプ  
KFR6091-1000BS



1500mmタイプ  
KFR6091-1500BS



2000mmタイプ  
KFR6091-2000BS

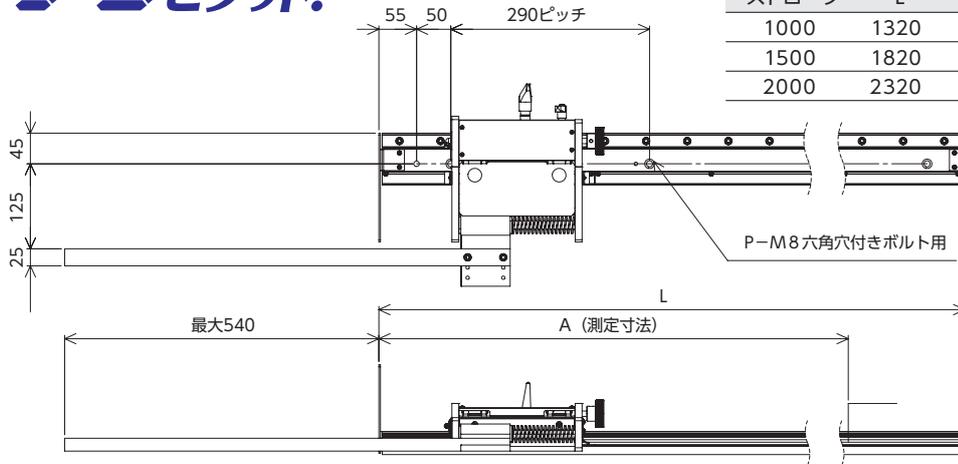


※特注対応3000mmまで製作可能です。

## 寸法・仕様

### ■外形寸法

デジピタット™

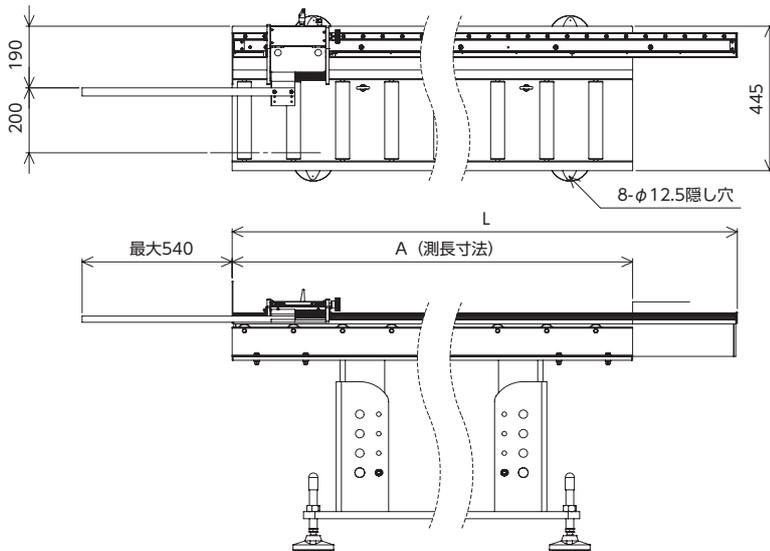


寸法表

(mm)

ストローク	L	A	P	質量 (kg)
1000	1320	1000	5	23
1500	1820	1500	6	28
2000	2320	2000	8	33

デジピタット™  
BASYS

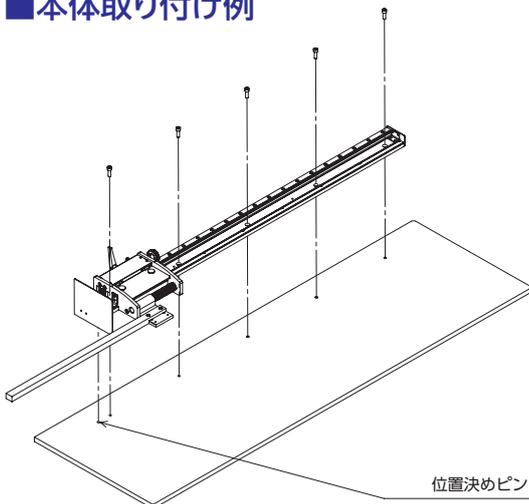


寸法表

(mm)

ストローク	L	A	質量 (kg)
1000	1320	1000	196
1500	1820	1500	248
2000	2320	2000	308

### ■本体取り付け例



### ■仕様 (デジピタット、デジピタットベシス共通)

形式	KFR6091
ディスプレイ表示	液晶 文字高さ13mm
電源	リチウム電池 (DC3.0V) 内蔵
検出方法	磁気式リニアスケール
安全性	EN610000-6-2、EN61326-1に準拠
トラベルスピード	Max10m/s
移動ガイド	リニアモーションガイド
測長精度	±(0.5+0.01×L)mm(L=m)
測長範囲	1000・1500・2000mm
測定方向	左 (-) 右 (+)
繰り返し精度	±0.01mm ※
表示精度 (分解能)	0.1mm
使用温度範囲	0℃~60℃
保存温度範囲	-20℃~70℃
保護等級	前面:IP60 裏面:IP20

※相手側の機器の精度、取り付け状態または環境等により変化することがあります。

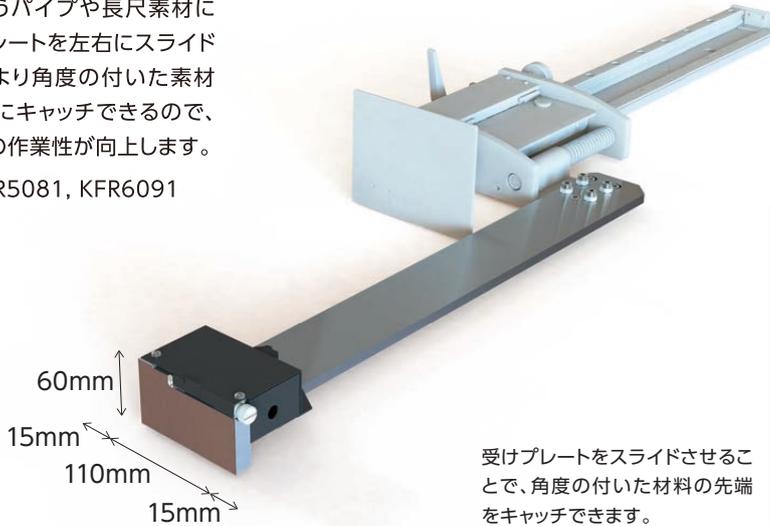
## オプション品 (デジピタット、デジピタットベイス共通)

### 幅広スライドバー

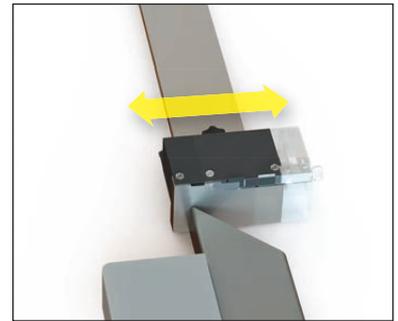
角度の付いた素材の先端も確実にキャッチします。

角度・径の違うパイプや長尺素材に便利。受けプレートを左右にスライドさせることにより角度の付いた素材の先端も確実にキャッチできるので、デジピタット!の作業性が向上します。

適応機種：KFR5081, KFR6091



説明動画



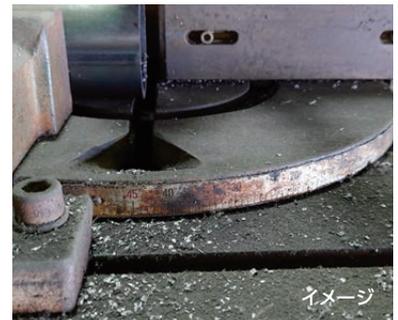
受けプレートをスライドさせることで、角度の付いた材料の先端をキャッチできます。

### デジタル角度ゲージ

切断刃の角度をデジタル表示で正確に測定できます。

角度切断時の刃物の角度測定\*1します。角度をデジタル表示することで、目盛の読み違いなどミスを軽減させます。また「度」「度分」の表示単位の切り替えも可能で、図面ごとの角度表示の違いに対応します。

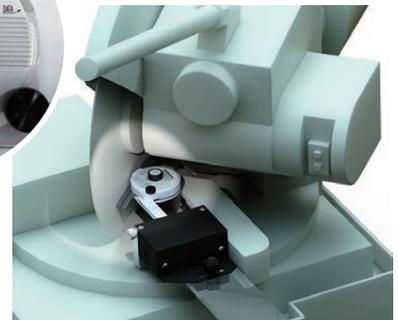
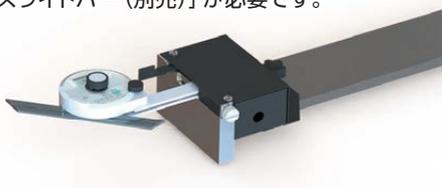
説明動画



切断機の長年の使用により、錆や油汚れで角度目盛りが読みづらくなっていませんか？



※1 デジタル角度ゲージを使用するには  
[幅広スライドバー (別売)] が必要です。



[幅広スライドバー]に[デジタル角度ゲージ]を装着することで、切断刃の角度をデジタル表示させることができます。

### 仕様

測定範囲	-60° ~ +60° (バイス開口150mm以上)
方向切替	有り
最小読取り値	1'又は0.01°
器差	±2'
繰返し精度	1'
応答速度	3rpm
表示単位	0° 0' (0度0分) 又は0.00° (0.00度)
電池/電源	コイン型リチウム電池CR2032×1個
電池寿命	約2000時間

※相手側の機器の精度、取り付け状態または環境等により変化することがあります。

切断機のガイドを基準に、直角の「原点決め」が出来ます。



## ⚠️ ご使用上の注意事項

- ・当製品は小径以外には使用しないでください。中・大径材を使用したり、過大な荷重または衝撃荷重を受けると、局所的な永久変形が生じます。また、この永久変形がある限度を超えると円滑な動作の妨げとなります。作業する際、衝撃等を与えないよう十分な配慮をお願いします。
- ・磁石・溶接・コイルの磁界や、磁性体の影響を受けないように設置してください。
- ・切断機の機種によっては取り付けられない場合があります。また「取付け型タイプ」の場合は、取り付けテーブルをお客様側で製作お願いいたします。
- ・本体の取付け時は位置決めピンで固定してください。ねじの締め付けは適切な長さのねじを用い、適切なトルクで取付穴全てを締め付けてください。固定不足は位置のずれや落下の原因となります。

ご使用の際は、説明書をよくお読みの上  
正しくお使いください。

# 菅機械産業株式会社

〒791-8042 愛媛県松山市南吉田町2278番地1  
TEL (089) 965-0665 FAX (089) 965-0651  
メールアドレス info@kankikai.co.jp  
ホームページ <http://www.kankikai.co.jp>



●本仕様は改良の為、予告なしに変更することがありますのでご了承下さい。(2022年10月)